

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月15日

## 【評価実施概要】

事業所番号	174700732		
法人名	医療法人社団 柏木内科医院		
事業所名	グループホーム あさひ		
所在地	〒089-0602 中川郡幕別町旭町24-76 (電話) 0155-54-6696		
評価機関名	社団法人 北海道シルバーサービス振興会		
所在地	〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7 4階		
訪問調査日	平成19年9月27日	評価確定日	平成19年11月15日

## 【情報提供票より】 (平成19年9月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 14年 3月 23日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	12 人	常勤 12人, 非常勤 0人, 常勤換算	12人

### (2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1~2 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000 円	その他の経費(月額)	2,500円(水道、光熱費)
敷金	有( 円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

### (4) 利用者の概要 ( 9月1日現在 )

利用者人数	18名	男性 0名	女性 18名
要介護1	5名	要介護2	2名
要介護3	5名	要介護4	5名
要介護5	1名	要支援2	0名
年齢	平均 84歳	最低 70歳	最高 100歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	(医社) 柏木内科医院、(医) 木下歯科医院、敬和会黒澤病院
---------	--------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは幕別町の中心から北東に位置し、猿別川の沿岸にあって閑静な住宅街にある。1階も2階も、個室・トイレ・浴室は機能的で利用しやすく、かつ入居者への見守りがしやすくケアに活かせる配置がされている。職員はもの静かで優しく、丁寧な介護に徹している。全員が常勤の職員として運営しており、馴染み関係を維持しながら安定したケアに努めている。隣接して畑があり、利用者の参加による収穫の楽しみの場ともなっている。母体が医療法人であることから、医療との連携の密度が高く、利用者やその家族に安心感と信頼を与えている。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 介護関連記録などに工夫と改善があり、多忙な業務の合理的な改善が図られている。また、入浴なども個々の心身の状況と希望に合わせた楽しい入浴・シャワーの機会を作るように配慮している。
	今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4) 前回の改善を含め評価の意義を確かめ職員全員が更なる自覚の上で、きめ細かな取組みと結果を速やかに公開することをも含めて、サービスの向上、職員の資質の向上に資するような評価に努めている。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は開催に至っていないが町当局・会議員(町内会長や家族)と予定日を決めて調整を図っている。開設以来、近隣に支えられるホーム作りを目指している。関係者の意見、町内会への加入、近隣の行事参加、様々なボランティアの活用や畑作り支援等を取り入れて運営に活かしている。近く予定されている会議には、利用者の生活状況とともに運営の基本的姿勢を説明することとしている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 2ヵ月ごとのホーム便り、日々の行事等の写真、心身の変化に関する連絡はもとより、家族の来談時の対応には職員の日頃の訓練が伺える。家族の要望を受け止め、利用者の日常のリズムを説明するなど、その意向を運営に活かした、利用者本位の姿勢で臨んでいる。
重点項目③	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 利用者が地域で支えられて生活できるよう理念を掲げている。自治会への参加とともに行事の協力、近隣からの協力や連携、地域医療への貢献など、医療法人固有の活動もあり、地域に馴染みのある活動を展開している。また、自治会ではホーム前の駐車場を避難場所に指定し、災害時の炊き出し班の役を担っている。
重点項目④	

## 2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	認知症の利用者を地域で支えるため、失敗させない、恥を欠かせない、不安にさせない、自分でできることは自分で、とのケアの心構えで望んでいる。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を掲示し、かつ、日々の業務での取り組み、利用者への対応、家族への日常的な説明などで管理者と職員は理念を共有し確かめ合っている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会への加入、行事への参加、近隣からの協力、ボランティアの導入、など多彩な活動で地域に支えられるホーム作りに努めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員相互が日頃の業務の検討と業績評価をもとに外部評価の意義を確かめて、全員参加のもとに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	実現すべく予定日を定めて対応の準備を進めている段階。	○	準備が整っているので、協議の会議録とともにその成果に期待したい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域ケア会議への参加など町の介護計画に参加して協力と提携を図っている。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	2ヶ月毎にホーム便りを発行し連絡している。家族訪問時に日常生活の状況・健康状態・金銭管理などについて説明しており、相談ごとにも受け止め配慮している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問の際には、きめ細かな対応で不満苦情を丁寧に受け止めている。	○	家族会開催の意向に期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動には配慮して職場の安定を保っている。結婚出産などの事情もあり、再就職の誘いもしている。利用者への配慮も管理者はじめ、全員でカバーしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	学習会、研修会、報告会などへの参加を促している。外部研修に多くの職員が参加できるよう、運営者が勤務体制などの調整を図っている。また、内部でも上司による訓練指導・助言などの日常訓練も行っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	関連事業所・同時期に開設した事業所などの交流会・学習会と交流を持っている。	○	今後も他のホームなどとの交流研修で相互の困難事例の検討などで成果を期待したい。
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	相談から利用にいたる過程は本人・家族とよく相談し納得してもらえるよう努めている。病院との連携を図りつつ、やむを得ず直ちに入居する場合は本人の性格や既往の生活歴などの情報を活かして馴染めるよう対応している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	支援側・される側でなく、互いに協働できる和やかな関係と場が作れるよう、多様な生活場面の行事（季節・祭り・収穫）やレク・遊び・作業の創造の工夫をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の言葉・しぐさ・表情・習慣・服装・生活のリズムなどを参考に個々の思いや意向を押し量りながら、その人らしく暮らせるように努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族の意向・要望を受止めるとともに、心身の変化に応じた状況を職員が相互に捉えて、会議の中で課題を明らかにして介護支援専門員の下で利用者本位の介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定例以外の対応についても、利用者個々の生活状況の変化に応じて、随時見直して新たな介護計画を作成している。当然、本人・家族・関係者の連絡と承諾を得ている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療法人として本人・家族の状況に応じて受診・往診の援助は柔軟に行い、本人家族の負担軽減にも努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療法人として、利用者の健康管理・看護師との連携、さらに、歯科医師の往診も行っている。また、職員への指導助言も行っている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化と終末期への方針は初回アセスメントの際に、本人・家族の意向を聞いて主治医と職員全員が共有している。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	実践理念にあるように失敗させない、恥をかかせない、不安にさせない、できることは自分でする、との考えで個々の誇り・自己決定を大切にケアを徹底している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の生活のリズムや意向を尊重しながら、ペースを崩すことなく笑顔で穏やかな暮らしができるように支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員は、一緒になって料理の下準備をしている。時には自作の野菜が素材になることも少なくない。こうした話題を含めた調理が、利用者の嗜好を促し楽しい食事につながっていて、積極的な調理のお手伝いにもなっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回の入浴日を設定しているが、その日の気分で拒否されることもあるが、無理強いせず清拭・浴室シャワーなど個々の状況に合わせた支援で入浴の楽しみを工夫している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除、食器洗い、食器拭きなど個々の生活歴や力に応じた役割が、日常生活の場面で果たせるよう工夫し支援している。また、義務や苦痛の伴わないよう、無理強いすることなく支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	可能な限り散歩や買い物、ホームに隣接する畑での野菜作り・収穫など楽しみを含めた外出の支援をしている。	○	四季を感じてもらえるような外気欲や、スーパーへの買い物など多様な外出も試みているので、今後も期待したい。
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者、管理者、職員相互がホームの禁止指定基準を理解していて、拘束的な環境を作らないよう取り組んでいる。日中の玄関の施錠も同様で、全員の認識のもとに取り組んでおり、夜間のみ施錠している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力で避難訓練・消火器の使い方を定期的に行っている。また、自治会ではホーム前の駐車場を避難場所に指定し、災害時の炊き出し班の役を担っている。		
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分摂取量を記録している。個々の心身の状況に合わせたかゆ、副菜のきざみ食、ミキサー食、嚥下補助剤など一人ひとりの状態に合わせてながら栄養バランスを考慮した食事を提供している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間の構成は居室・居間・廊下・トイレ・浴室がバランスよく配置され、照明、彩光、換気に留意されている。観葉植物、季節の花々が置かれ、居心地の良い生活環境を作っている。また、聴きなれた音楽（民謡、童謡・演歌など）が流されている。	○	さらに、五感や季節感を意識的・積極的に取り入れる工夫に挑戦しているので、今後も期待したい。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、使い慣れた家具、布団、心身の状況に合わせたベッドが置かれている。また、家族の写真、ぬいぐるみ、植物など家族とのよき関係をしのばせるものが置かれており、居心地よく過ごせるように工夫されている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。